

第5回 古谷地区

川合市長と語り合うタウンミーティング

日時：平成21年5月19日（火）

午後6時30分～8時30分

場所：古谷公民館

対象地区町字名

大字古谷上、大字古谷本郷、大字小中居、大字大中居、大字高島、大字八ツ島、大字下老袋、大字東本宿

参加者

1 性別

男 性	47
女 性	11
無回答	0
合 計	58

2 年齢別

	20 歳未満	20 ~ 29 歳	30 ~ 39 歳	40 ~ 49 歳	50 ~ 59 歳	60 ~ 69 歳	70 歳以上	無回答	計
男 性	1	1	2	2	2	25	14	0	47
女 性	0	1	3	5	2	0	0	0	11
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	2	5	7	4	25	14	0	58

3 職業別

	学生	会社員 公務員	自営業	主 婦	農 業	その他	無回答	計
男 性	1	7	7	0	15	17	0	47
女 性	0	0	1	9	0	1	0	11
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	7	8	9	15	18	0	58

出席者

市長、大野副市長、石川副市長、総合政策部長、総務部長、財政部長、市民部長、福祉部長、環境部長、都市計画部長、建設部長、教育総務部長

意見数

1 会場

発言者数... 2 1 人

意見内容

分 類	件数	内 容	頁
教育・文化	2	・旧古谷東小学校の活用について ・運動公園について	8 1 1
健康・医療	1	・こども医療費の無料化について	8
福 祉	8	・障害児学童保育室について ・古谷保育園の建てかえについて ・ピアカウンセリングについて ・自立支援協議会について ・民生児童委員について ・古谷保育園の建てかえについて ・古谷保育園の建てかえについて ・子育て支援について	4 5 8 8 1 0 1 1 1 2 1 2
道路・交通	6	・道路の延長工事について ・道路の拡幅について ・運動公園北側の路上駐車について ・信号機の設置について ・川越シャトルについて ・通学路の整備について	3 4 7 7 1 0 1 2
公 園	1	・伊佐沼公園について	1 3
施 設 運 営	1	・育成会のキャンプファイアについて	3
市 職 員	2	・福祉の専門職員について ・組織の連携について	8 8
そ の 他	5	・市長就任後の実感について ・市の財政状況について ・国民健康保険調整基金について ・水道資料展示館について ・斎場建設について	3 5 6 7 1 3
計	2 6		

意見交換（要約）

《市長就任後の実感》

意見 ちょうどきょうで就任なさってから、多分 100 日になりますか。この 100 日の間の、川越市の市政または財政についてのご実感をお聞かせいただければありがたいと思います。

川合市長 まず財政につきましてはかなり厳しいという実感でございます。

財政調整基金というのが各自治体にはあるのですが、川越市ぐらいの財政規模のところでは少なくとも 30 億円ぐらい積み立てていくのが通常であるというところを、5 億円程度しか財政調整基金がないという状況です。

事業をやるについても、工夫をしながら本当に必要な事業はまずやっていく、そういう考え方で臨んでおります。それから、歳入を確保するためのことも考えておりますし、歳出面で不要なことはできる限り削っていくという考え方で臨んでおるところでございます。

行政改革のほうについては、私が公約に掲げたいろいろなことをやるための本格的な組織改革は来年 4 月からにならざるを得ないという状況でございます。若干変えたところもありますが、本格的に変えるのは来年の 4 月以降ということになる予定でございます。

《道路の延長工事》

意見 50 年以来の要望として、この出張所の裏から東のほうに抜ける道路、一部開通しておるんですが、その先が開通できてないというようなことなので、ぜひ何とか実現させていただきたいということと、それに伴う廃川敷の払い下げの絡みがありまして、それを抱き合わせでお願いしたいというのが私の要望でございます。

染谷建設部長 10 年前に出張所の裏の道路が一部でき上がってしまして、でき上がったところから東側について説明会をしました経緯がございます。

線形は決まったような記憶がございますけれども、未改良の部分につきましては精査いたしまして、皆さんの要望の道路でございますので、早期に実現させるように努力したいと思います。

それから払い下げの関係ですが、これは管財課のほうの話だと思うのですが、一部完了しているというお話は聞いておりますけれども、持ち帰りまして部署に伝えます。

《育成会のキャンプファイア》

意見 育成会の事業といたしまして、農業ふれあいセンターをお借りしてキャンプを行

っております。その行事の中にキャンプファイアというものがあります。メインの一つでもあります、今回してはいけないということを言われました。川越北消防署の許可をいただいております。役員の中に看護師が2名ほどおりますが、この辺をお話ししてもご納得をいただけなかったんです。どうか子どもたちから体験する機会を取り上げないでほしいということを強くお願いしたいと思います。

有山教育総務部長 過去に生涯学習課でも、ジュニアリーダーのキャンプの関係で農業ふれあいセンターを使っていたのですが、ダイオキシンの問題等で、今おっしゃったような中身も含めて断られた経緯があります。

この問題は、生涯学習課が過去に断られた経緯とはまた違った意味がありますので、持ち帰って関係部署と相談しながら解決をしていきたいと思います。

川合市長 キャンプでキャンプファイアをやらないなんていうのは、子どもに感動体験を与えるという意味でもマイナスで、キャンプをやる意味がなくなってしまうと思いますので、ぜひ実現する方向でやります。

《道路の拡幅》

意見 道路の拡幅でございますが、15 年以上前に陳情してあります。この道路は通学路で、用水路は道路と並行して走っているんですが、それを利用すれば7メートルぐらいの道路ができるわけなんです、その水路が個人の名義になっているという不思議な話がございます。何で水路敷が個人の名義になっているのか調査してもらいたいと思います。

染谷建設部長 水路が個人の名義になっているということでございますので、その辺をよく調べまして、道路化に向けて努力していきたいと思います。

《障害児学童保育室》

意見 市長さんは、川越市の障害児学童保育室「こっこクラブ」というのをご存じでしょうか。市の建物をお借りしているんですが、老朽化して保育に適している環境ではないので、一度市長さんにその学童施設のほうを見ていただきたいと思いまして、きょうはお願いに上がりました。

川合市長 私も就任直後に「こっこクラブ」さんとは違う団体さんとお会いして、お話を聞かせていただく機会がございました。「こっこクラブ」さんももちろん存じております。ただ、その場所を私はまだ見ておりませんので、遠からず見させていただきたいとは思っております。老朽化していて、場所を何とかしたいというご希望をお持ちだということも承知しておりますので、具体的にいつと言うわけにはまいりませんが、できるだけ早い時期にいい方法で検討していきたいと考えております。

《古谷保育園の建てかえ》

意見 古谷保育園の建てかえ問題についてお尋ねをいたします。

昭和 44 年に建設されて以来かなり老朽化し、耐震基準、冬は寒い環境の中で、夏は暑い中でお昼寝をしなきゃいけない等の問題が発生しております。

平成 13 年に、平成 17 年ごろに建てかえの計画が始まりますというふうに、会議録のほうを拝見させていただいたんですけれども、具体的にどういう方向で進んでいるのかお伺いをさせていただければと思います。

吉野福祉部長 古谷保育園は、市内の川越市立の保育園の中で、ただ一つ残った木造園舎ということで、建てかえについては検討していますが、いつから、どういう規模で、どこへ建てかえるかを含めて、具体化はしていない状況でございます。

耐震につきましては、市長から指示をいただきまして、至急に耐震調査をするということになっております。建てかえについては、グリーンパークにあります古谷第二保育園と含めてどうするかといった部分がございまして、なかなか具体化していないというのが現状でございます。

《市の財政》

意見 財政のことでお聞きします。財政が大変逼迫しているというお話ですが、市民一人に対してどのぐらいの借金があるのか、はっきりと伺いたいんですが。

川合市長 一般会計における市債残高、市民一人当たりの金額は、平成 19 年度で 23 万 2,317 円、それから市全体では、特別会計等の分を合わせると、市全体の市債残高は 1,129 億円で、市民一人当たり 34 万 1,635 円、これは平成 19 年度ですから 20 年度はもうちょっとふえているということになります。

渋谷県議 川越市の道路や橋が 1,200 億の資産計上になっているんですよ。これはどういう計算ですか。公共投資やインフラ整備でつくった道路が、川越市は、青森までの 800 キロに匹敵する認定道路があるんですよ。それで 1,200 億の資産計上になっているんです。

高橋財政部長 貸借対照表を持ってきていないので、今具体的な数字がわからないので、確認させていただかないと何とも言えません。

渋谷県議 それと、川越市役所、市民会館で 900 億の資産計上になっているんですね。それから学校が 900 億、東西の清掃センターが 280 億です。

川合市長 今の数字は貸借対照表という形式をとった場合の数字のお話だと思います。大変申しわけないのですが資料を持っていないので、市の広報等に載せて皆さんに知っていただきたいと思います。

《国民健康保険調整基金》

渋谷県議 それと、国民健康保険調整基金ですが、それが、川越市は地方交付税が不交付団体でありますから、県のほうからの補助金がうんと少ないんです。不交付団体ということは財政豊かなわけなんですよね。それがどういう方法で豊かになって不交付団体になっているのか、ちょっと聞きたい。

川合市長 不交付団体だから豊かだという、決してそういう見方はできないと思います。市の債権を起こして借金をするより、国からお金をもらったほうが早いだろうと思って、どうやったら交付団体になれるのか、それを財政部長に聞いたことがあるのですが、そう簡単にはさせてくれないと言うのです。国の計算した単価、基準でいろんなものを国が計算して、国の基準による経費のほうが、市の歳入より低いから地方交付税を交付してあげる必要はないという考え方でやっているんです。その基準を厳しくして、なるべく地方交付税を出さないように国はしているんです。不交付団体だからリッチという状況ではないと私は理解しています。

高橋財政部長 ただいま市長からお話があったとおりでございまして、国のほうが基準財政収入額と需要額というのを決めます。要するに川越市という団体が標準的な行政を実施したらどれだけの経費がかかって、税収がどれだけあって、必要経費は幾らなんだということを国がある意味勝手に決めてくるわけです。それと比較して市の収入のほうが多ければ、交付しないという形になるわけでございます。

それが、三位一体改革の関係で非常に厳しく算定をされるようになってまいりました。どんどん国が需要額を下げてきたということもございまして、現在ではもらえない状況になっているというのが現状でございます。

渋谷県議 もらえるようにできるんですか。

川合市長 それがなかなかできないのです。私も借金をするより、国から金がもらえるのならもらったほうが早いだろうと思って、財政部長に相談しましたが、そう簡単にはいかないということのようです。

渋谷県議 私は今、県の福祉保健医療委員会にいますが、国民健康保険調整基金というのが県から 58 億円出ているんです。そういう中で、川越市については医療費とか障害者手当が半分以下なんです。川越市が、財政豊かな報告をするとこうなるんですよ。

川合市長 財政豊かな報告をするからではなくて、基準が厳しくなっているということです。

渋谷県議 同じ条件でほかの市町村なんかはもらっているんです。58 億の配分が、市民の医療費、それから障害者手当を含めて、47% ぐらいしかもらえないんですよ。県の

ほうが 53% くらい出すんです。ところが、川越市の場合は少ないんですよ。それは市の報告がそうだからということなので、福祉部のほうと相談してみてください。

川合市長 もらえるものであれば、ぜひもらう方向で検討していきたいと考えております。

《運動公園北側の路上駐車》

意見 運動公園の北側のところなんですが、地方ナンバーの大型トラックが工業団地に荷物を持ってきて、あそこで長い時間待機して睡眠をとっているんです。何とかひとつお骨折り願いたいと思います。

川合市長 駐車禁止にするかしないかは公安委員会、警察の問題だと思うのですが、現状を調査させていただいて、改善できるように努力をさせていただきます。

《信号機の設置》

意見 東中学校のところに、校長さんから、信号をつけるように申請してくださいと言われて、3月に、申請書を5カ所に提出したんです。どのくらい待っていれば、可能性でも結構ですからご答弁願いたいと思います。

清水市民部長 この件につきましては安全安心生活課が所管しておりますが、川越警察署のほうとも確認が必要になります。ただいまの内容につきましては、持ち帰りまして、早速調査をさせていただきたいと思います。

川合市長 信号機をつける、つけないは、市の権限ではなくて、公安委員会、警察の権限なのです。もちろん市としては極力働きかけをして、必要なところになるべく早くつけてもらうようにやっていきますけれども、警察は警察で基準を持っていて、その基準に従って順番につけていくやり方をしていると思うので、こちらの思うとおりにはいかない部分があるということをご理解いただきたいと思います。

《水道資料展示館》

意見 私は水道資料展示館をつくりたいと思って、水道局に3年前の3月に申し入れました。局も、私の申し入れに対し、ぜひとの返事がいただきました。

展示場は中福受水場の2階の50平米の会議室との話となり、器材も水道業の一軒一軒に協力をお願いし1,000点を超えました。昨年の10月ごろより展示品の飾りつけに入りましたが、その後、国より監査があるので、どうしても30平米ぐらい会議室として使えるようにと申し渡しがありました。また、飾りつけ時点で、テレビやほかの配電盤等に予算を使い、現時点では残っていないとの話でした。私の寄附に対して十分な打ち合わせなしに、このようなことになってしまいました。平屋の展示ハウスをお願いいたします。

川合市長 ご要望の趣旨はよくわかりました。しかしながら、財政の問題であるとか、例えば国の特定の目的の補助を受けてつくったところはほかの目的には使えないとか、いろんな制約がございまして難しい面もあろうかと思いますが、ご要望の趣旨はよくわかりましたので、心にとめさせていただきます。

《こども医療費の無料化》

意見 川越市では何歳まで健康保険が使えるのか、できたら中学３年生ぐらいまで健康保険がただになればいいので、その点をお聞きしたいと思います。

川合市長 現時点では医療費が無料なのは、小学校就学前の子どもまでで、あと中学生までは入院医療費は無料だけれども、入院以外の一般の医療費は、健康保険は使えますが料金を取られるシステムになっています。

こどもの医療費も段階的に無料化するという私の公約でございますが、私が市長になったときにはもうほとんど予算はでき上がっていましたので、次年度から順次積極的にやっていきたいと考えております。

ただ、６年生まで一遍に来年は無料化とか、そういうわけにはちょっとまいりません。段階的に引き上げていくという、そういう考えでございします。

《旧古谷東小学校の活用》

意見 「こっこクラブ」が老朽化していますので、古谷東小の跡地を使わせていただけないでしょうか。古谷東小学校の跡地利用につきましてはどのようなお考えがあるのでしょうか。先ほどのもう一つの学童保育というのは、多分ひばり養護学校だと思うんですね。現在、肢体不自由児の放課後の保育をしてくれるところはどこにもないんです。ですから、放課後の学童利用ということを含めてお返事をいただきたいと思います。

川合市長 古谷東小学校の跡地の利用に関しては、もう何年も前から地元の方たちと話し合いを進めてきて、１階部分についてはもう決まっていると思います。

現在の予定としては、２階以上の部分については、教育研究所等が入るということで地元の方のご了解をいただいているというような報告を受けています。地元の方との話し合いの中でその使い道を決めてきたという点がございしますので、今までの継続性を尊重して使っていただきたいと思いますと考えておりまして、そこに学童保育が入れるという予定はないと聞いております。ただ、「こっこクラブ」が使っている建物が古いということと、それから別の団体からも、何とか学校を障害者の学童保育に使わせてほしいという要望がございしますので、それについてはなるべく早い時期に前向きに対応していきたいと考えております。

《福祉の専門職員、組織の連携、ピアカウンセリング、自立支援協議会》

意見 福祉関係についてですが、中堅以上の方にはほとんど専門職がいらっしゃらないので、ヘッドハンティングをしてでも中堅の幹部の方を複数名、配置していただけないかというふうに思っています。

それから、なかなか横の連携がうまくいっていないので、なかなか情報をいただけないということが現実にあります。

特に、保健所につきましては、かなり離れた場所にありますので、書類程度で済む内容については、保健所の窓口や総合的な窓口などを常設で福祉部門に設けていただけないかというふうに思いました。

三点目としましては、ピアカウンセリングということが国の施策の中でうたわれるようになってきております。障害のある方がほかの障害のある方の相談に乗るということは、川越では確かにされているんですけども、研修を受けたとかそういうこともないんですね。職員の方も知識をお持ちでないという現実があります。

もう一点、自立支援協議会という組織があります。これについて障害当事者が参加していない。厚労省も行政指導をされていて、当事者を入れるようにということになっております。質問をしたんですが、当事者の意見は福祉施設を通して吸い上げるというご返事でした。福祉施設をほとんど使っていない者の意見は吸い上げられない、福祉の施設と当事者は対立することもあるとお伝えしたところ、一般の市民を公募しているのでそれでいいと。これも説明になっていないということがございます。

吉野福祉部長 ただいまのはご意見でしたので、現状についてちょっとお話をさせていただきますと、中堅以上に専門的知識がない者が多いというのは事実だと思います。福祉部の中に専門職が入ってきていますけれどもまだ歴史が浅いということですので、そういう職員もいることは事実です。

横の連携につきましては、いろいろな方から言われていることで、やはりそういった部分はあるかと思えます。

保健所の窓口については、できる部分については市役所でも受け付けてますけれども、書類の提出等について確認する場合には、それぞれに行っていただくというのが現状だと思います。

ピアカウンセリングについては、相談支援事業者の中にピアカウンセリング分も含めて開拓しているということで、それが現状になっております。

それから最後の、自立支援協議会に関しては、当事者が入っていないというのは事実です。第2期の委員を委嘱する段階で、ご家族の方はたしか一人かお二人は入っていたかと思いますが、当事者は入っていないというのが事実です。

川合市長 自立支援協議会に当事者を入れなさいという行政指導があるのですか。最後の点につきましては、そういう事実があるのであれば、ぜひ改善していきたいと思います。

《民生児童委員》

意見 民生児童委員が各地域におきまして高齢者や障害者を持つご家庭の方を見守っていくために重要なのは、各ご家庭の情報でございます。ところが、この情報がなかなか行政のほうから出していただいております。

居住者カードというのを出していただいておりますけれども、個人情報保護法という問題がありまして、なかなか全員の方に出していただけていないんです。

埼玉県研修会に行きましたときに、情報を出していただくようになってますと回答をいただいているんですね。全国民児連からも、できる限り出してあげてくださいという通達が厚労省の局長から出ていると聞いております。万が一何かあったときに、情報を持ってない状況の中で活動しなきゃならないということをお含みいただいて、ぜひご検討をお願いしたいと思います。

川合市長 確かに民生児童委員さんにお仕事をしていただくのに、相手の家庭がどういう状況かわからない中で行っていただくというのも酷な話だと思います。開示するよという制度になっている、あるいは指導があるというのであれば、ぜひそれに従って開示したいと思います。法律上、問題ないということが確認できれば、ぜひそういう情報もお伝えしていきたいと思います。

《川越シャトル》

意見 川越シャトルバスの増発、あるいはルートの変更をしていただきたいというのが趣旨であります。この北部は、公共交通機関のないところで、交通不便を感じておるわけであります。

ぜひとも将来に向けて、真の福祉とは何なのか、老人が活性化できる、そのような環境づくりに一歩前進をしていただく、このようなお願いが私の意見でございます。

西川総合政策部長 現在のシャトルバスにつきましては、平成 18 年に新ダイヤということでルートを決めております。その後、高階の市民センター等ができて、一部ダイヤの変更をしたりというケースがございます。ルートの変更は非常に難しいところがございますので、皆様方の要望を聞きながら、一定程度の段階のときに、またルートの変更をさせていただければと思っております。

川合市長 シャトルバスについては、現状は、年間 3,000 万の売り上げを上げるために 1 億 8,000 万以上のお金を使っていますが、ルートとダイヤを変える前は 1,800 万を売

り上げるために、1億8,000万のお金を使ってました。利用者をふやすことによって、売り上げが3,000万までふえてきたわけなんですけれども、そういう現状があるということとはぜひ知っていただきたいところでございます。シャトルバスという形をとるか、あるいは福祉タクシーみたいな形をとるか、それはこれから先、検討していきたいと考えているところでございます。

もちろん今のご意見のように、比較的交通の不便なところで、かつ高齢者の方が大変不便を来しているという点については、きちんと配慮していかなければならないということとは認識しております。

《古谷保育園の建てかえ》

意見 古谷保育園は公立で最後の木造で、耐震の診断では5年ももたないと言われていたそうです。もし地震が起きてしまったらという不安は常にあります。子どもたちの身に何かあった場合、何か補償をしていただけるのでしょうか。耐震診断に何百万円も使うならば、建てかえたほうがよいのではないのでしょうか。

川合市長 古谷保育園は木造であって、耐震診断の対象になっていないという話をひと月ぐらい前に聞きまして、であれば何らかの形で診断して、当面の補強を考えなきゃいけないのではないかという方向でやっております。もちろん建てかえを視野に入れて、なるべく早く改善していきたいと考えております。子どもさんの安全にかかわることですので迅速に対応していきたいと考えます。

《運動公園》

意見 最初のころは運動公園もかなり利用度はあったと思うんですが、最近は余り大きい大会が催されないように見受けられます。

ロードレースなんかも、周辺にコースがないということで行われんんじゃないかと思うので、なるべく交通規制をしなくても済むようなコースを設定できないものか。

それから、サッカーにしても有名なところに来てたんですけれども、最近はもう全然ない。サッカー部の子どもたちに聞いたところによりますと、サッカー場は確かにあるんですけれども、何チームか来ると練習する場がない。サブグラウンドがあればいいんだけどなということを言っていました。

あと、運動公園の北側道路に大型トラックがとまっているので困るんだという話が出ましたけれども、それを市のほうに依頼したらポールを川岸のほうに4カ所つけていただきました。効果はあると思うので、ポールでも立てて、ちょっと様子を見ていただければと思います。

有山教育総務部長 まず、お話にありましたロードレース等につきましては、意見箱等

でも出ております。ただ、コース設定を交通規制抜きにしてやることは難しいと思っていますので、その辺については検討させていただきたいと思っています。

また、競技がだんだんと少なくなったという話がありました。私も昨年インターハイの事務局をやらせていただいて、そこでバレーボールの関係者からは、駅からの利便性が悪い、日常的には難しいとかなり怒られました。

それから、公認をとるためには、写真判定とかそういう手続ができるようなことに、さらにトラックも絶えず5年見直しできれいに張らなければいけないということで、それだけでたしか1億2,000万から3,000万の予算がかかります。

そういうことをやっても、先ほど言いましたような要素がありますので、サッカーといえ、さいたま市にはプロサッカーもありますので、そちらに行ってしまう。練習会場の問題も解決していませんので、2種公認を持っていて、一億数千万円を違う予算に使ったほうがいいのではないかというのは、私ども事務局も含めて体育関係者でも悩んでいるところです。

ただ、市民の方々がスポーツをしたり、見て感動するようなスポーツがどのようにできるか、その点については今後も検討していきたいと思っています。

《古谷保育園の建てかえ、子育て支援》

意見 ほかの自治体を見ておりますと、保育園の建てかえに付随して統廃合を進めて大規模化をしてしまったり、民営化や民間委託を導入した結果として、保育の質が崩れたり、子どもたちに多大な悪影響が及んでいるというケースがあります。古谷保育園は、安易な建てかえではなく、これまで培われてきた保育の質や内容を崩さないような形で早急に建てかえをお願いしたいと思います。

それから、子育て施策というのは、未来の川越をつくる事業じゃないかと思っているんです。その子どもたちに対して、お金をきちんとかけて、手をかけて、心をかけてということをしていかないと、将来の健全な発展はないのではないかと考えております。市長さんは子育て施策に意欲を持たれているというふうに私は思っております。ぜひ今後もそういう方針でやっていただきたい。

またぜひ市民のほうにオープンに議論を投げかけていただきたいなというふうに思っております。

川合市長 そのとおりだと思います。子どもは将来の川越あるいは将来の日本を担う人たちだから大切にしなければならないという思いはございます。大変いいご提案をいただいたと思います

《通学路の整備》

意見 東中学に行く通学路についてご意見を申し上げます。

平成3年に古谷自治会で16号国道から古谷上まで11メートルの道路を直そうということに決まりまして陳情しましたら、市のほうもすぐ測量に入ってくれました。測量は終わったんですが、一部の地権者に同意がもらえなくてそれっきりになったんですね。

一回陳情して、全員に同意をもらえなかったという、下のほうに積まれちゃって、もうだめなんだという話は聞きますけれども、今でもそうなんでしょうか。

染谷建設部長 そういうことはございません。あくまでも地元にとっての重要度、それから子どもの通学路など優先順位の高いところからやっております。

ただ、この古谷地区では今、実際に要望によって測量を始めているのが21路線あります。場所がいっぱいあるので長い距離ができなくて、それを短くして満遍なくということで今やらせていただいています。この後、場所を聞きまして、よく精査してみたいと思います。

《斎場建設》

意見 火葬場として一番理想的なのかというのは、やすらぎのさと、あの周辺にあるのが一番便利でよろしいかと思うんですね。あのやすらぎのさと周辺の地権者の方々のご意向はどうなのか。そこがだめなのであれば分譲している工業団地の中なら周辺の住民の方の反対が多分起こらないんじゃないかと思います。

先般の議会を傍聴しましたときに、話が持ち上がって完成までに早くて7年、一般的には10年を要しますというような回答をしておったようです。

川越市だけでだめだったらば、川島と合同で考えてもいいだろうし、7年かかってもしょうがないですから、早く建設していただくように、あの辺の地主の方に、足しげく通っていただいて交渉していただきたい、そんなふうに思います。

川合市長 斎場につきましては私も公約に掲げまして、ぜひ早急につくりたいという、そういう考えであります。通常のプロセスを踏んでいくと、大概10年計画ですということは担当から聞きました。ただ、極力早く前倒して進めていきたいと考えております。場所の選定とかさまざまな調査、検討、その辺のところから今年度は進めていくという、そういう体制で臨んでおります。

斎場の場所については、やすらぎのさとの近くがいいというご意見が多く聞こえてきますが、必ずしも歓迎されない施設ですから、地主の方の同意、あるいは市民の方のご意見なども聞いた上で最終的に決めていきたいと考えております。

《伊佐沼公園》

意見 伊佐沼公園の増設は、市では早くから提案が出ていたようでございますが、これ

からどういう方向で進んでいくのか、その辺のお考えをいただきたいと思います。

鹿ノ戸都市計画部長 平成 14 年 3 月に伊佐沼公園基本計画というものをつくってございます。ただ、大変費用もかかることでございますので、今、順番に作業を進めているというところでございます。18 年度には伊佐沼冒険の森の基本設計、そしてまた 19 年度には、計画区域内の一部を借地契約をさせていただいているような状況でございます。

伊佐沼に関しましては、県が主体で、県営地域用水環境整備事業をやっていただけるということが決まりまして、平成 24 年度までに浚渫した底泥を使用して盛土護岸をつくり、ヨシ、アヤメ等を植栽できるように直してくという計画を持っているところでございます。